

★大学合格のための3大条件

- ①学力：受験生の努力
- ②情報：保護者および受験生
- ③コミュニケーション：保護者の協力

★大学入試の現状

- ・大学受験は易しくなった!?
- ◆受験人口の減少
1992年がピーク 121.5万人
以降減少を続け
2021年は67.4万人
(2022年は65.7万人?)

★入試方式の多様化

- ・私立大入試方式例
1学部1回受験 ⇒ 1学部複数回受験
- ☆同一日程複数コース型
異なる受験科目で複数の方式を提供
- ☆複数日程型
複数の選抜方式を別日程で実施
- ☆入試日程選択型(試験日自由選択)
複数日に入試日程を設定(複数回受験可能)
- ☆全学部統一入試
1回の受験で複数の学部・学科に出願可能

★大学受験の現状

- ・大学入学手段について<大妻女子大学例>
- ①総合型選抜
*自己推薦型Ⅰ期・Ⅱ期：旧AO入試
情報技術評価型：2021年度新設
- ②学校推薦型選抜
- ③大学入学共通テスト
- ④一般選抜
一般選抜A方式Ⅰ期・Ⅱ期：個別学力試験
一般選抜B方式Ⅰ期・Ⅱ期：
大学入学共通テスト利用

★入試制度の変更(新制度入試2年目)

*2020年度(2021年入学者)より入試制度変更!

(~2019)	(2020~)<2021年入学者>
「AO入試」 *8/1~	⇒ 「総合型選抜」 *9/1~
「推薦入試」 *11/1~	⇒ 「学校推薦型選抜」 *11/1~
「センター試験」	⇒ 「大学入学共通テスト」 *2022/1/15・16
「一般入試」 *2/1~(私立大学)	⇒ 「一般選抜」 *2/1~(私立大学)

*2022年度日程は5/17時点で正式発表されていません。

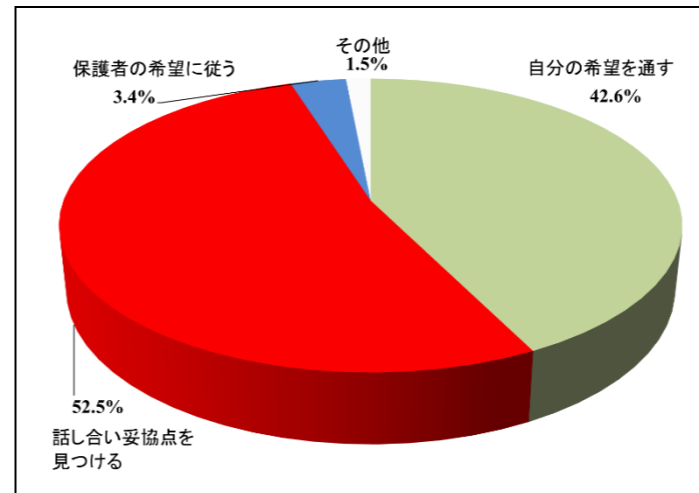
★受験生が保護者に望むこと

- ◆激励・協力してほしい
- ◆大学入試の複雑化 ⇒ 先入観によるアドバイスは危険!
- ◆受験生へのバックアップ
- ◆志望校・将来の目標は?

★保護者への要望

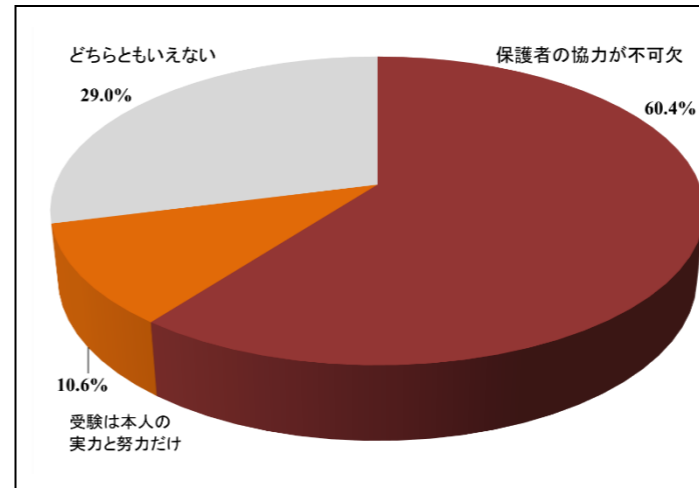
①進路の決定(2019年)

保護者と意見が不一致の場合どうしますか?

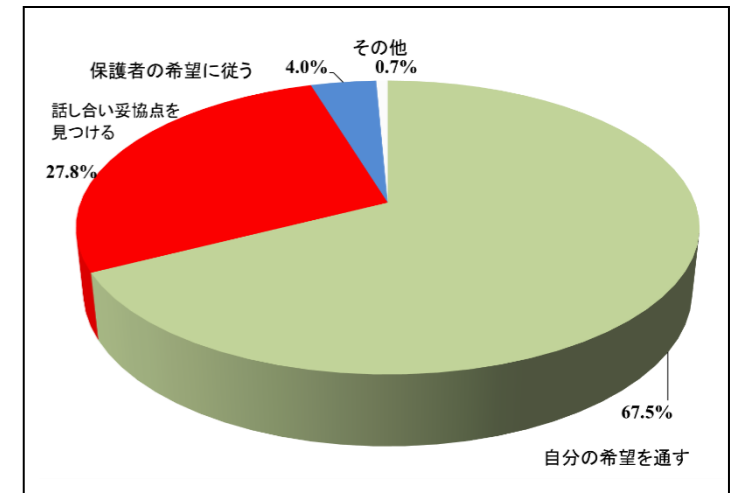


②受験生と保護者の意識(2019年)

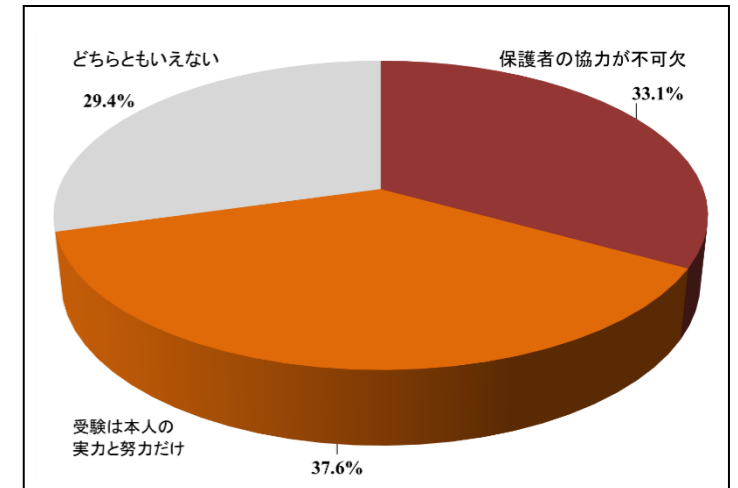
受験は保護者の協力と関係がありますか?



(1995年)



(1995年)



★センター試験と大学入学共通テストの相違点

<国語>

- ・現代文(センター試験)
第1問：評論文
第2問：小説
- (大学入学共通テスト)
☆論理的文章・文芸的文章・実用的文章の3分野から
2題出題

<英語>

- ・「筆記」から「リーディング」に名称変更
⇒発音・アクセント・文法・整除問題は廃止となり、
読解問題(リーディング)6題が出題される。
リーディングとリスニングの配点がそれぞれ100点
- (センター試験は200:50)
- <数学Ⅰ/数学Ⅰ・数学A>
・試験時間70分(センター60分)・長い問題文の出題

*ただし合否判定は各大学が提示する「傾斜配点」を使用する。